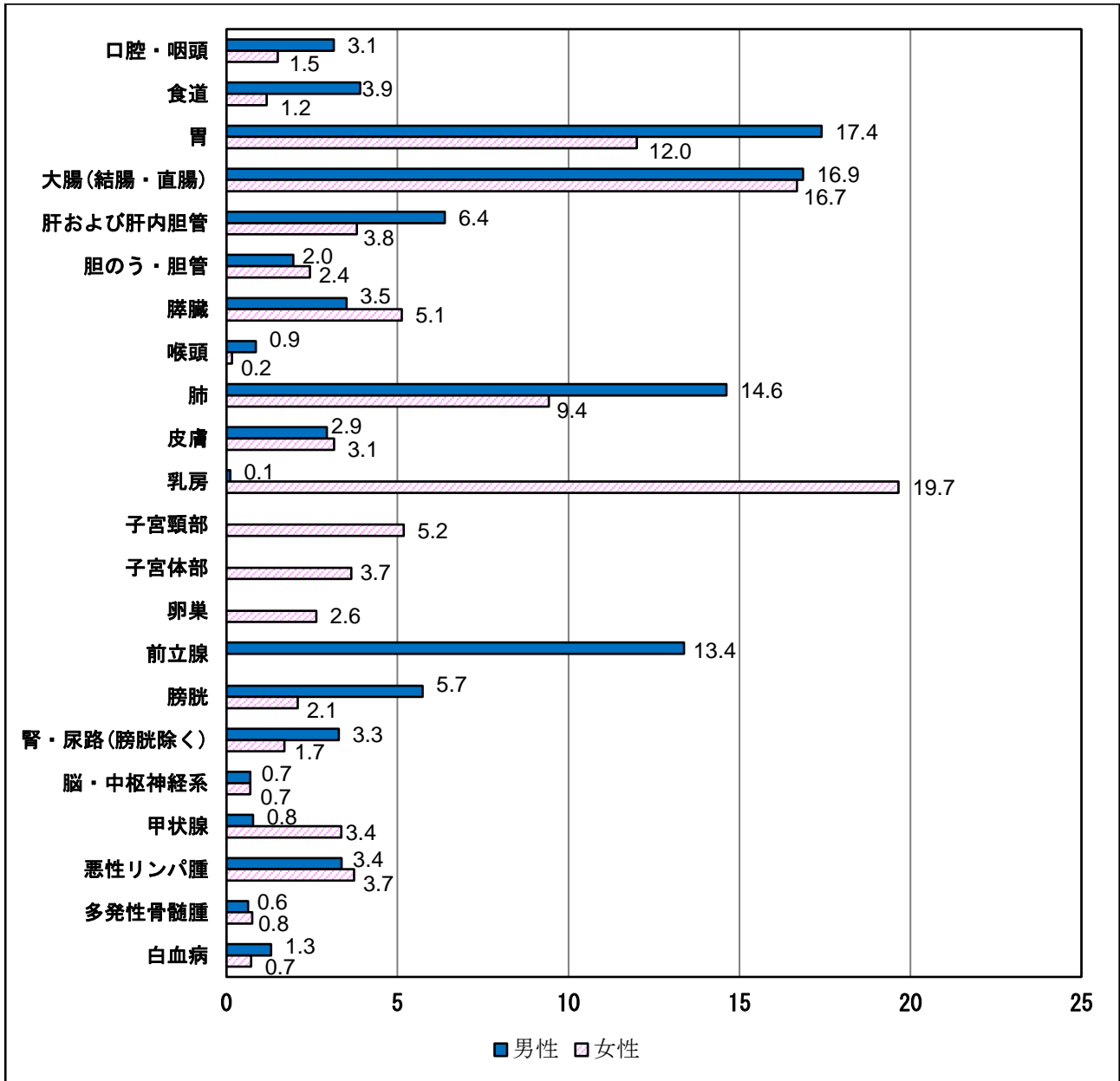


## 罹患割合(%)：部位別・性別

男性の罹患割合では胃がん、大腸がん（結腸・直腸）が最も多く、次いで肺がん、前立腺がんとなっている。女性で最も多いのが、乳がんであり、次いで大腸がん（結腸・直腸）、胃がん、肺がんと続く。

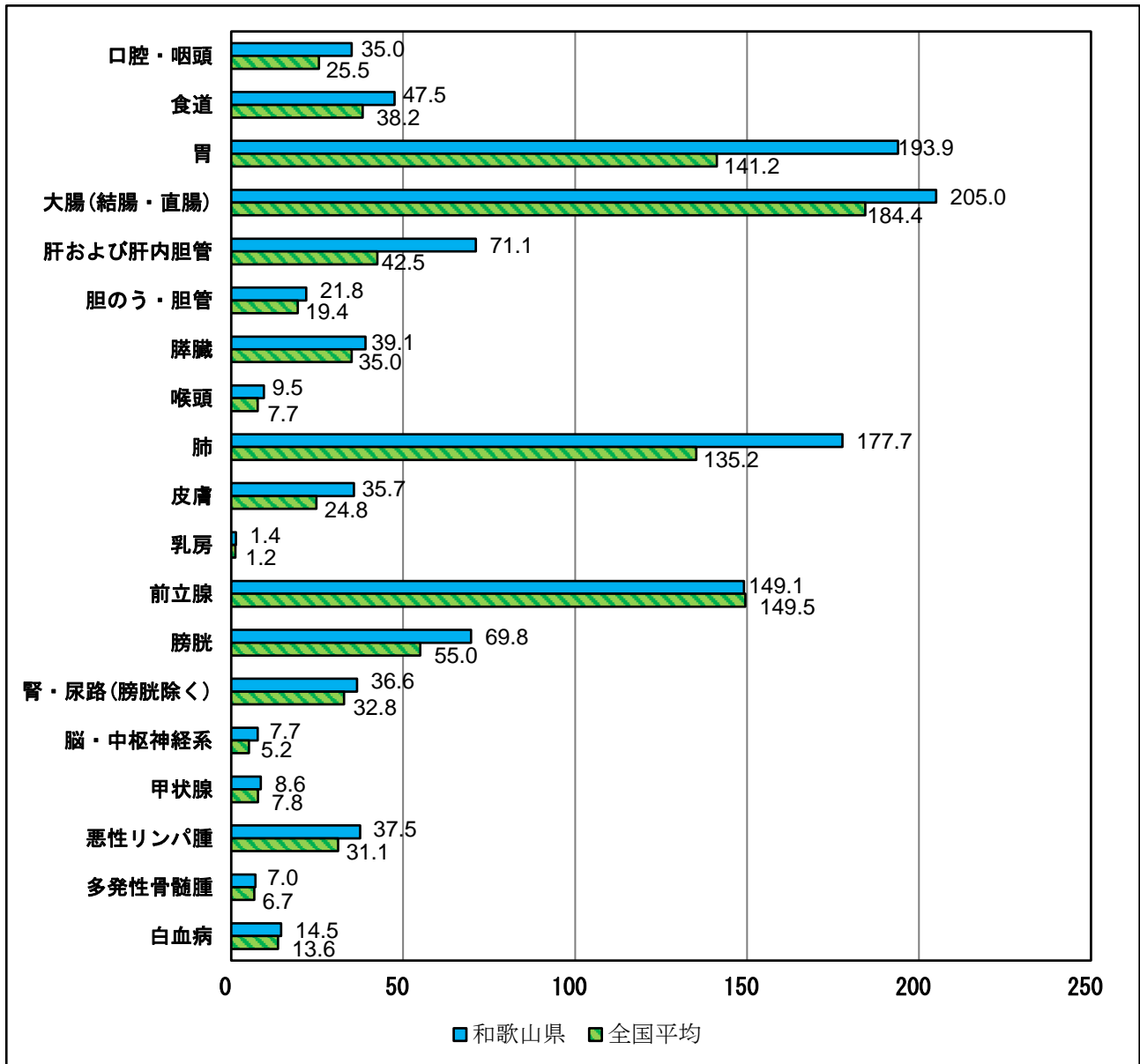


※ 大腸の内訳：(男性) 結腸 11.0、直腸 5.8 (女性) 結腸 11.9、直腸 4.8

※ 標準集計表の表 1-A、1-B から作成

## 部位別粗罹患率（男性）・和歌山県と全国平均との比較

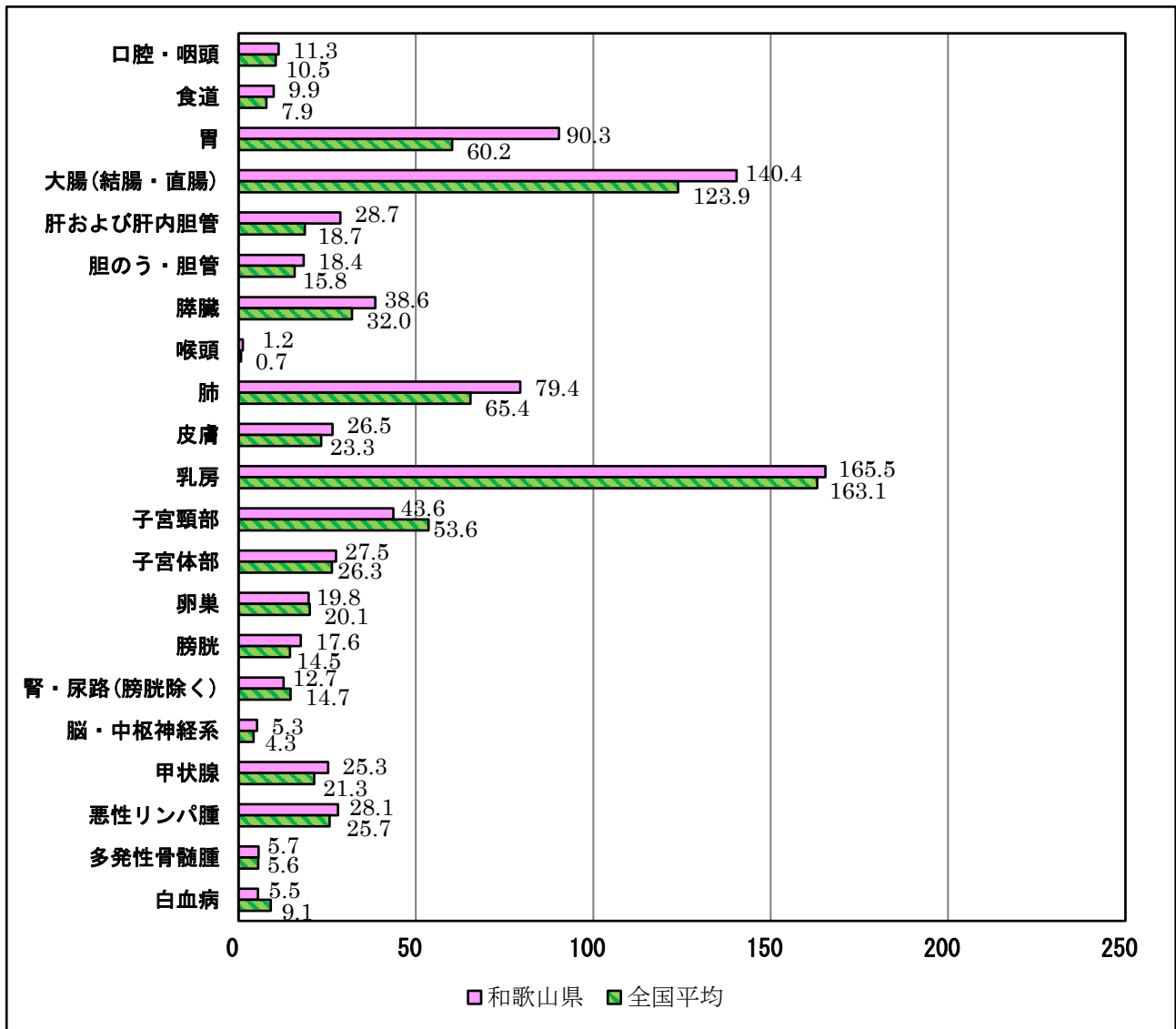
全国平均との比較で見ると、男性ではほぼすべての部位で、全国平均より高い粗罹患率となっている。特に、胃がん、大腸がん（結腸・直腸）、肝および肝内胆管がん、肺がんが顕著に高くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

## 部位別粗罹患率（女性）・和歌山県と全国平均との比較

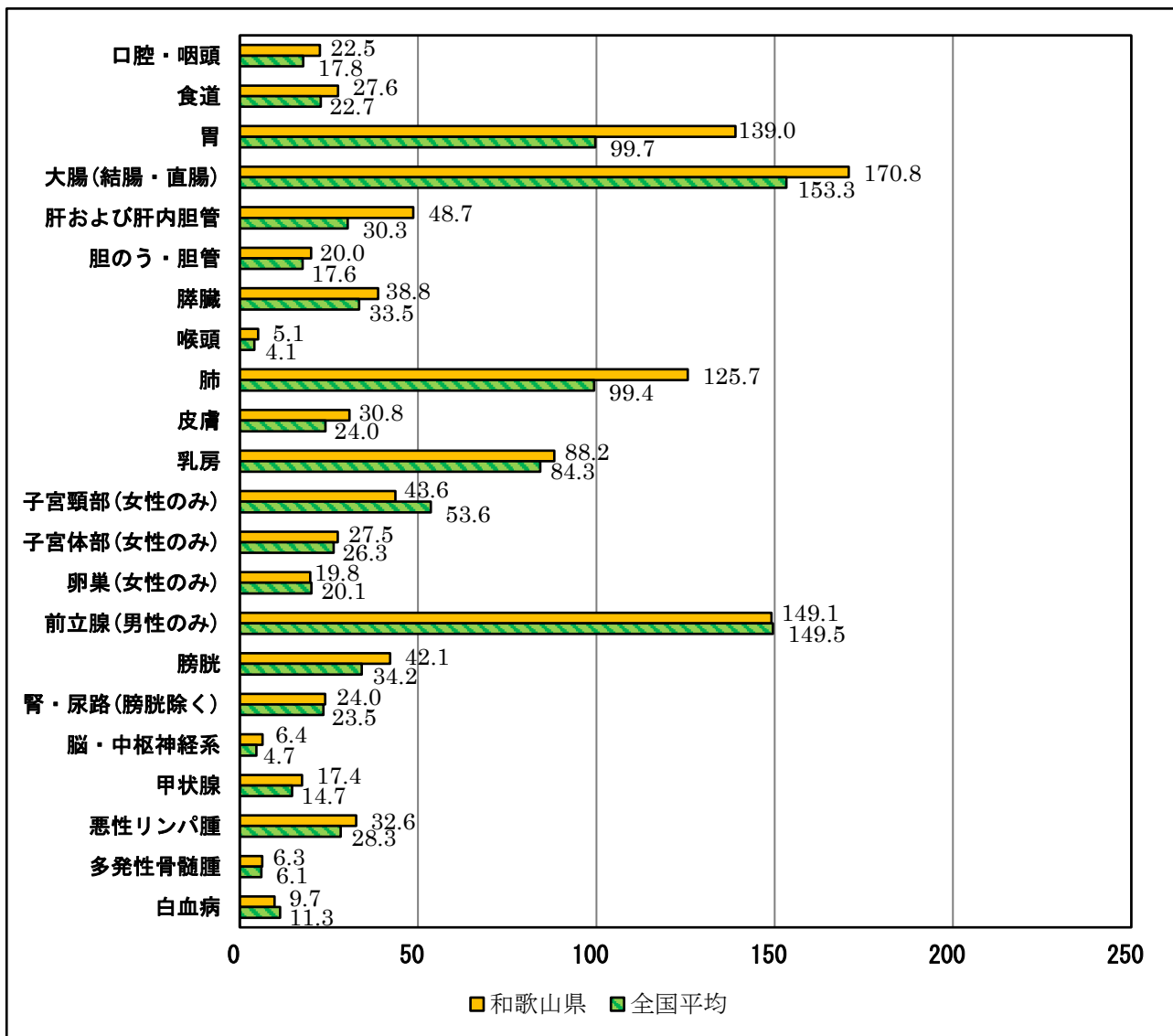
全国平均との比較でみると、女性でもほとんどの部位で、全国平均より高い粗罹患率となっている。特に、胃がん、大腸がん（結腸・直腸）、肺がんが顕著に高くなっている。また、子宮頸がんなどは全国平均より低くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

## 部位別粗罹患率（男女計）・和歌山県と全国平均との比較

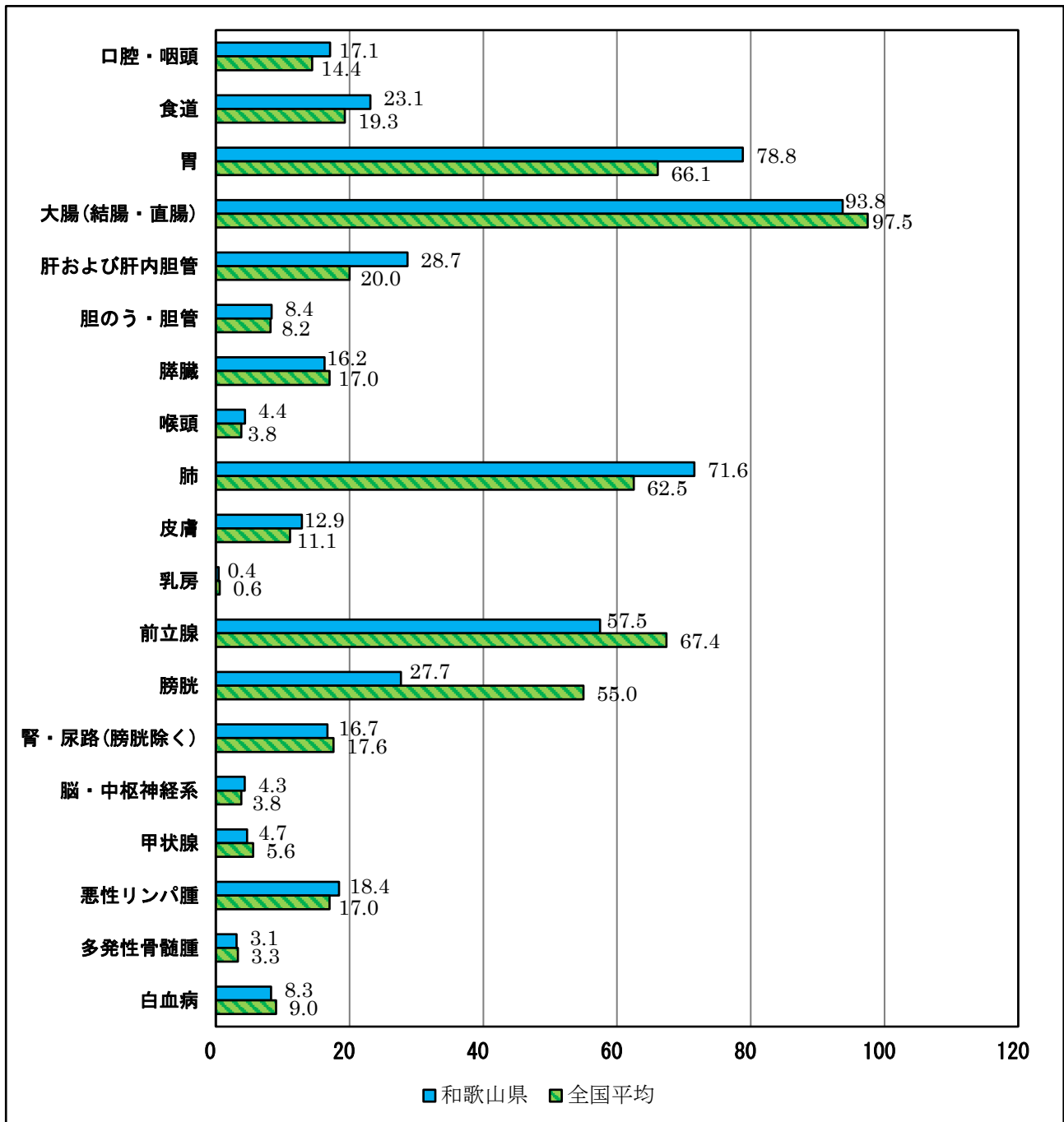
全国平均との比較で見ると、胃がん、大腸がん（結腸・直腸）、肝および肝内胆管がん、肺がんなどで、全国平均より高い粗罹患率となっている。また、子宮頸部がんなどは全国平均より低くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

## 部位別年齢調整罹患率（男性）・和歌山県と全国平均との比較

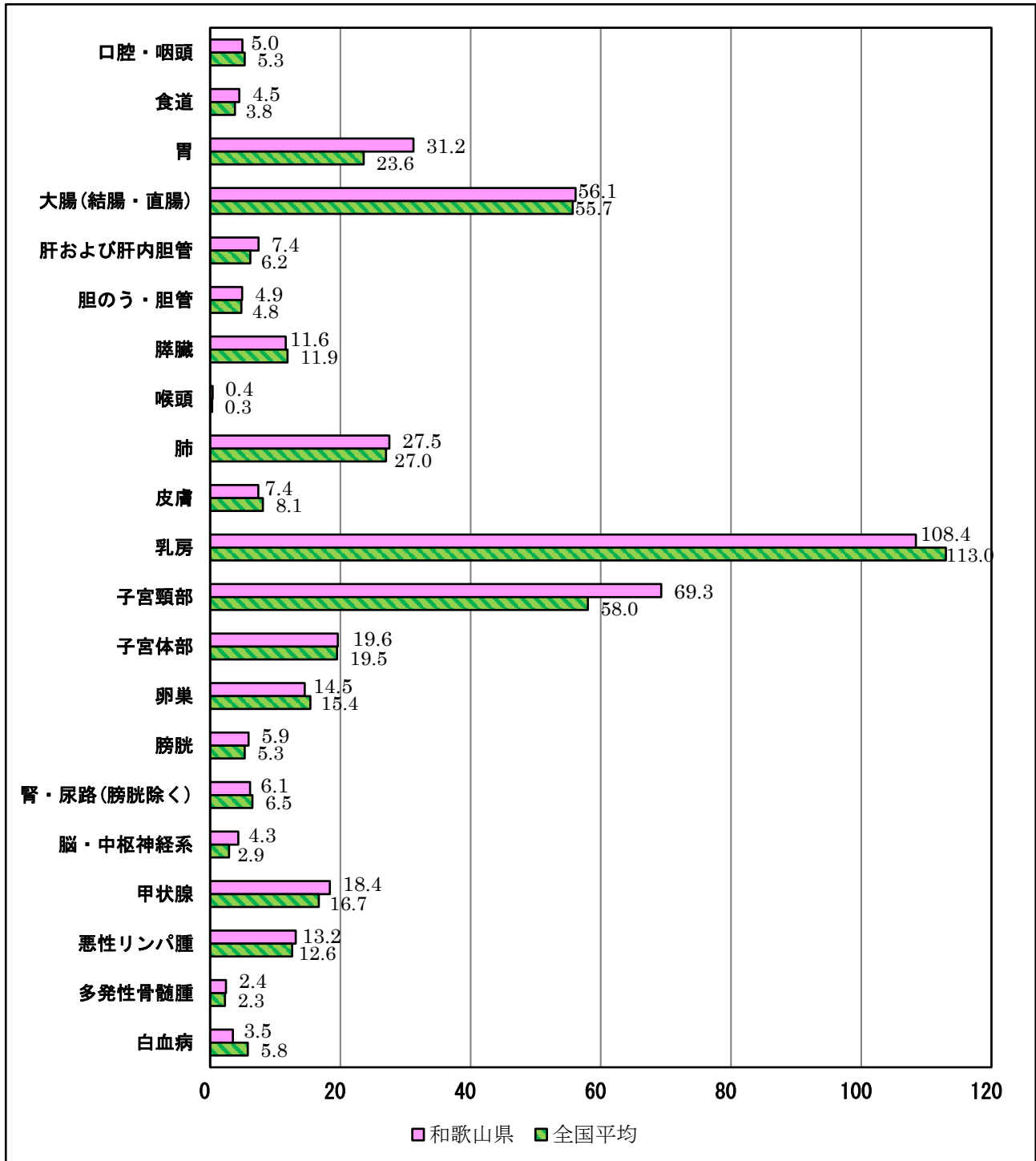
男性の罹患率は、年齢調整をすることにより、粗罹患率と比べると全国平均との差は縮まっているが、胃がん、肝および肝内胆管がん、肺がんは、調整後も全国平均との差は大きくなっている。また、大腸がん（結腸・直腸）、前立腺がんは全国平均を下回っている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

## 部位別年齢調整罹患率（女性）・和歌山県と全国平均との比較

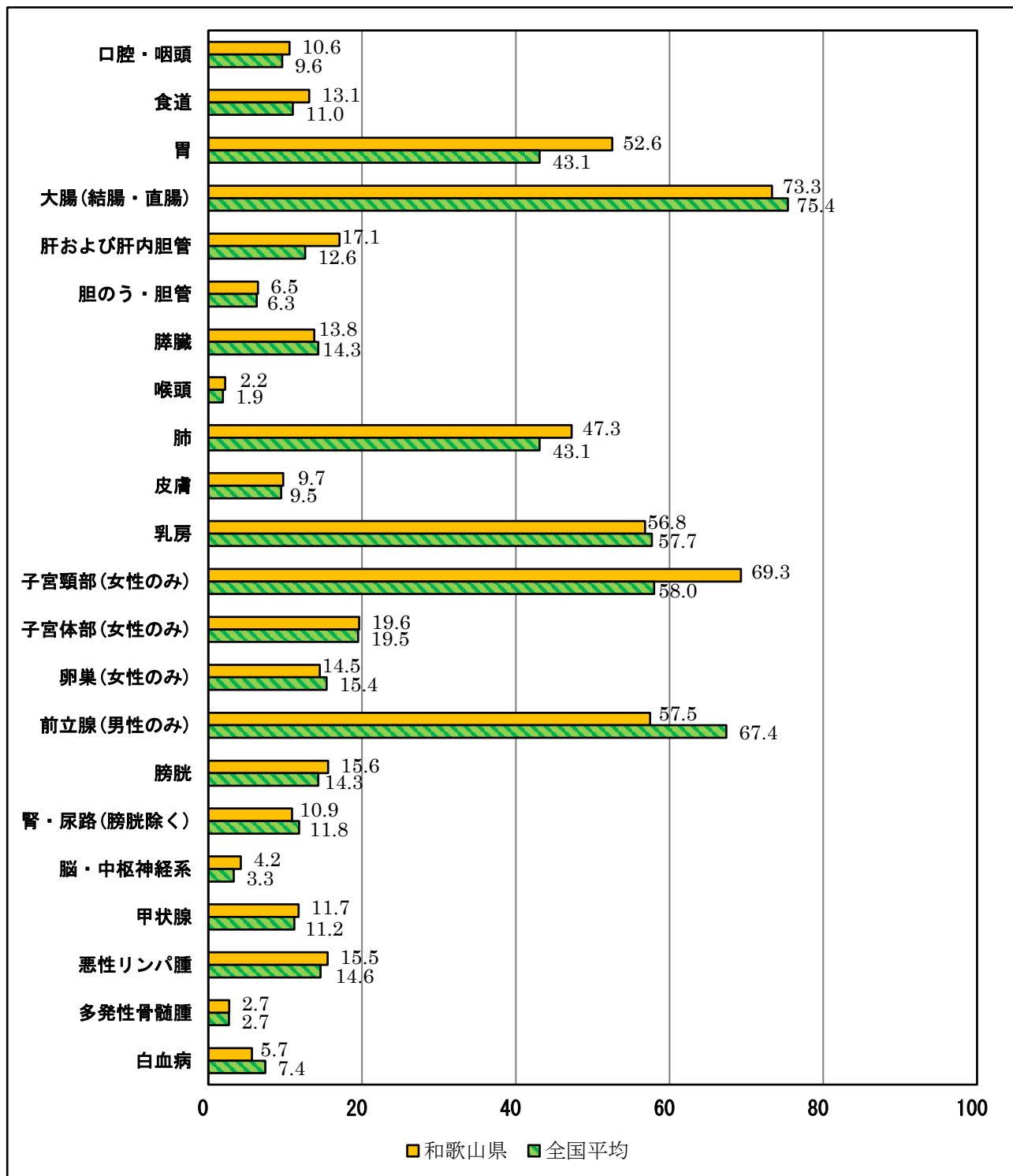
女性の罹患率は、年齢調整をすることにより、粗罹患率と比べ、乳房がんは全国平均を下回り、胃がん、大腸がん（結腸・直腸）、肺がんは全国平均との差が縮まっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

## 部位別年齢調整罹患率（男女計）・和歌山県と全国平均との比較

男女計の罹患率は、年齢調整をすることにより、粗罹患率と比べ、大腸（結腸・直腸）がん、乳がんは全国平均を下回り、胃がん、肺がんは全国平均との差が縮まっている。

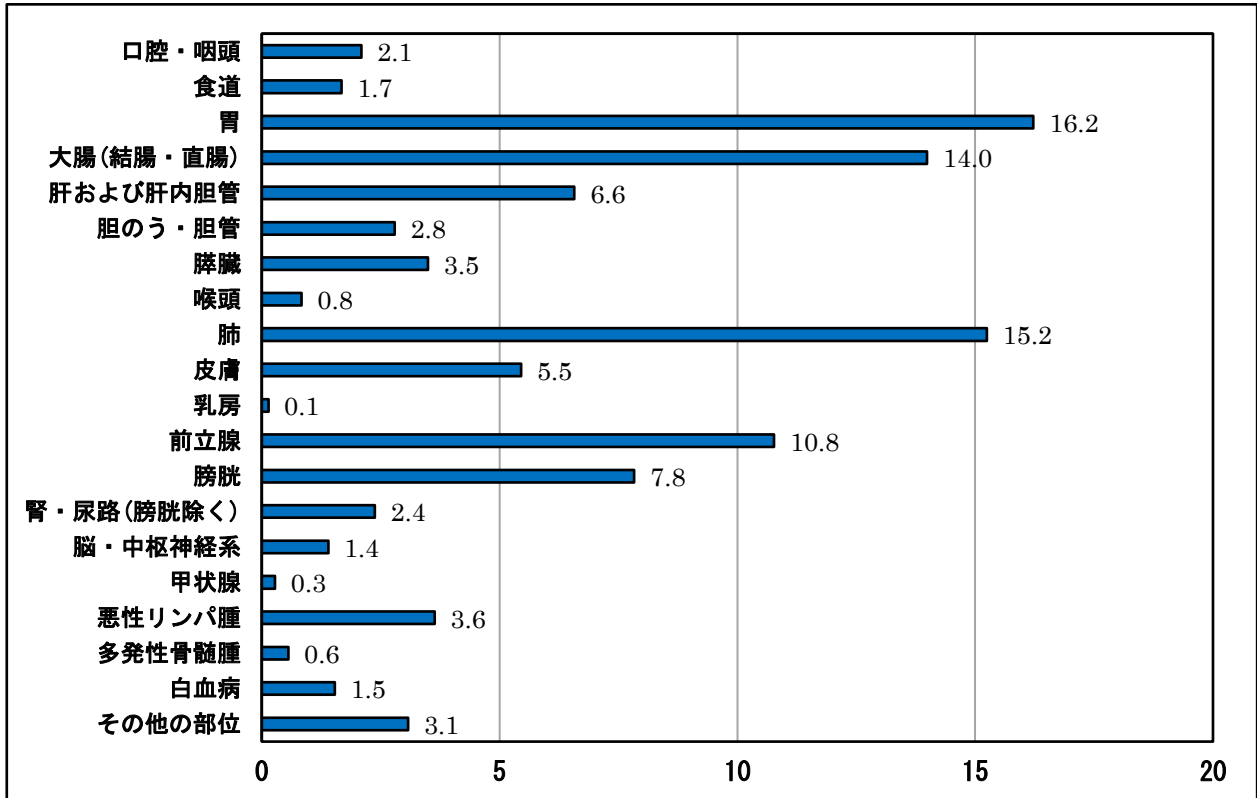


※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

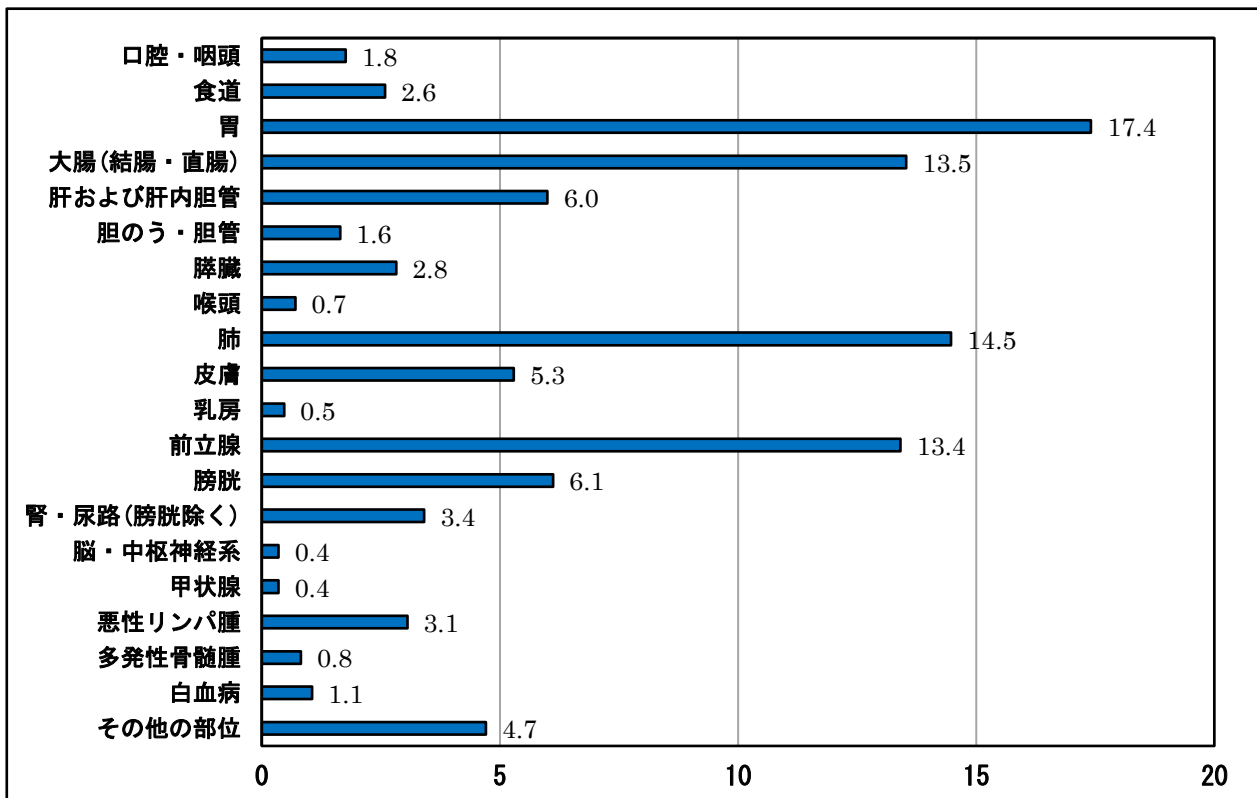
年齢階級別罹患割合(%)：部位別、性別（男性） ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

85 歳以上では、胃がん、肺がん、大腸がん（結腸・直腸）の順に高く、80-84 歳では、胃がん、肺がん、大腸（結腸・直腸）がんの順に高くなっている。

【85 歳以上】



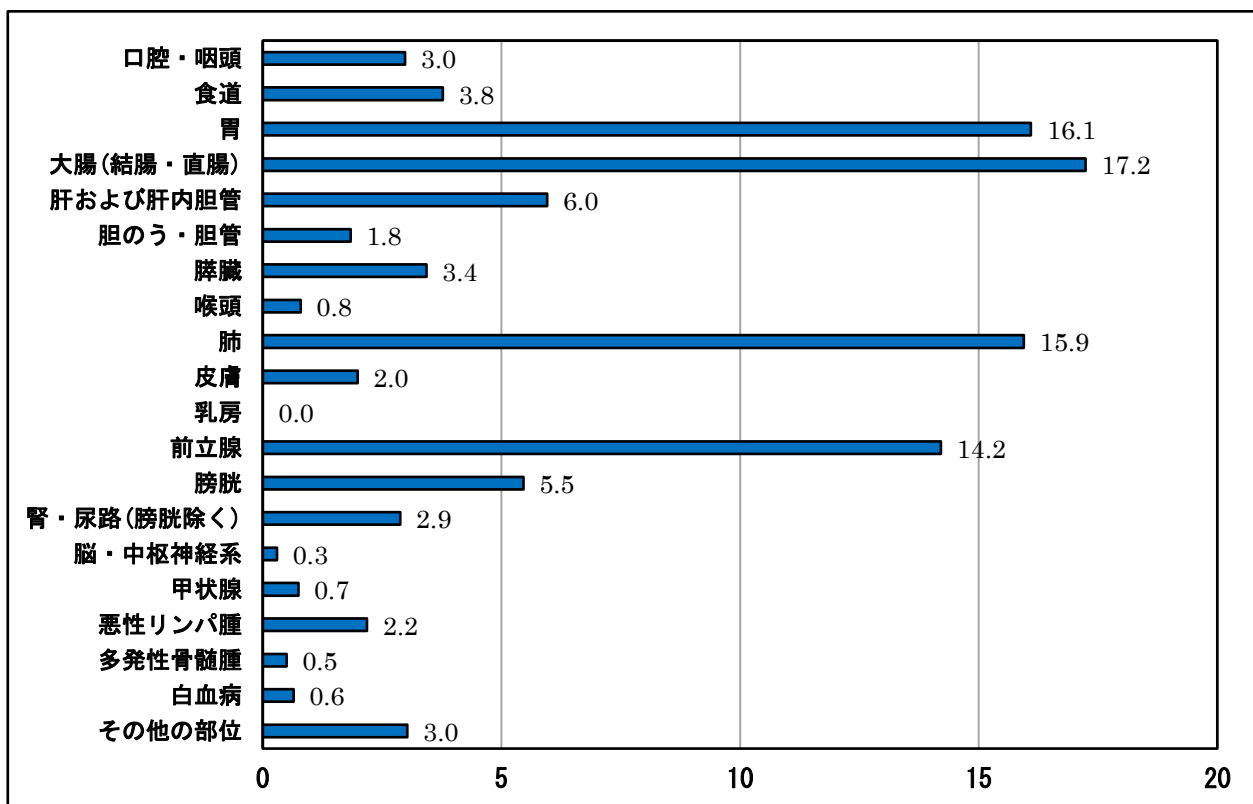
【80-84 歳】



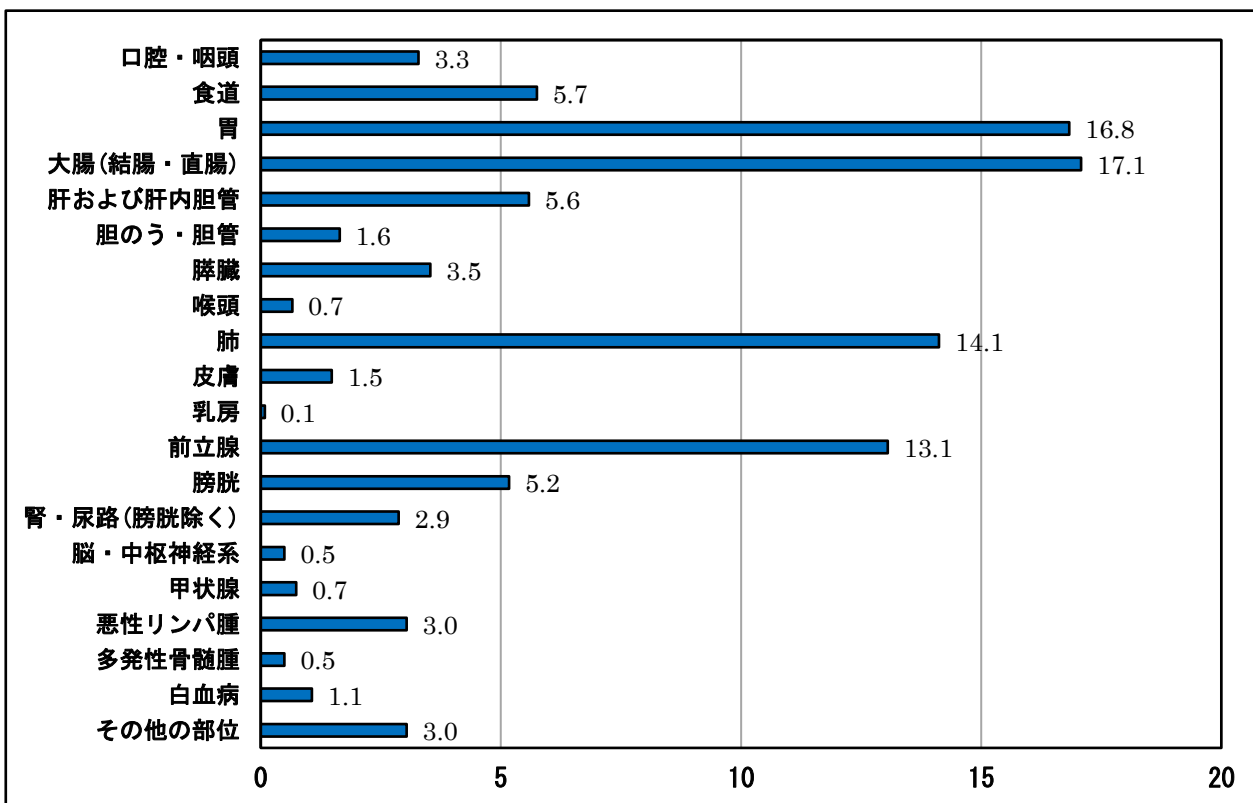


70代では大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高く、60代でも大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高くなっている。

【70-79 歳】

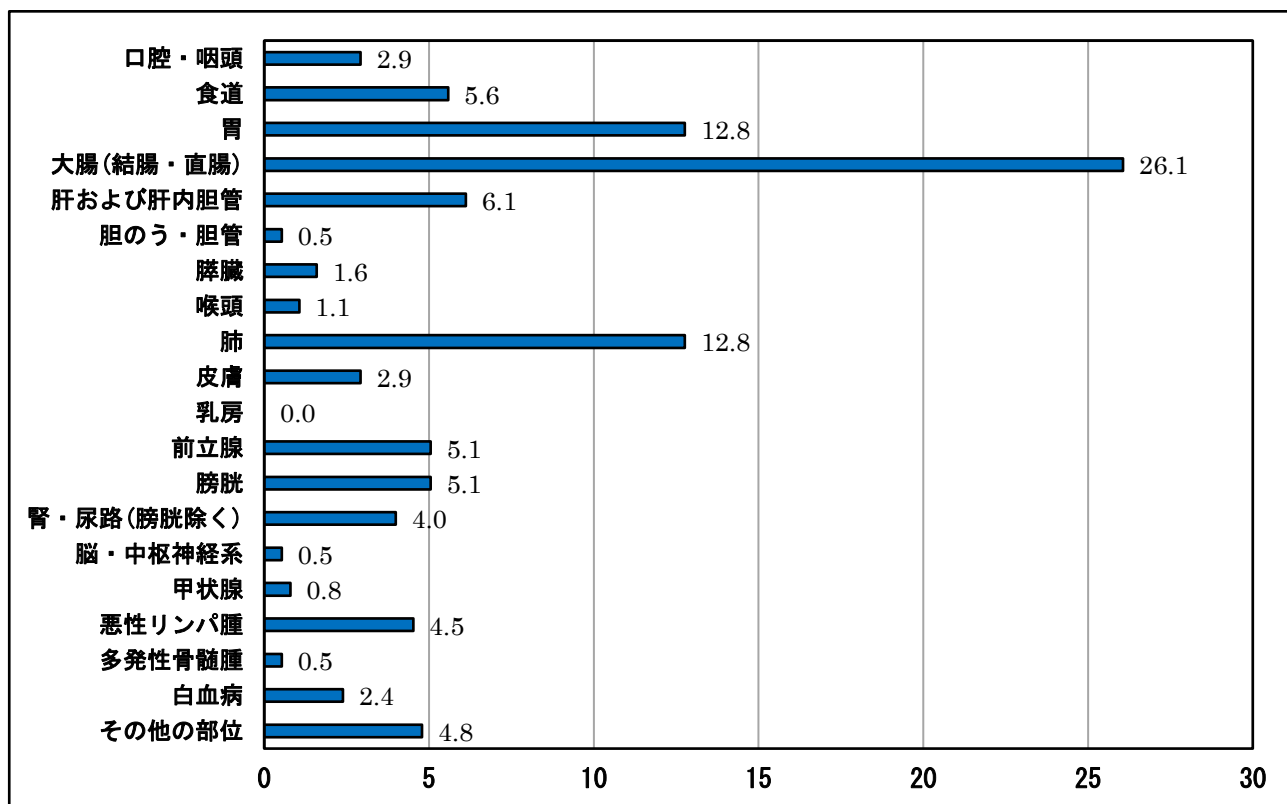


【60-69 歳】

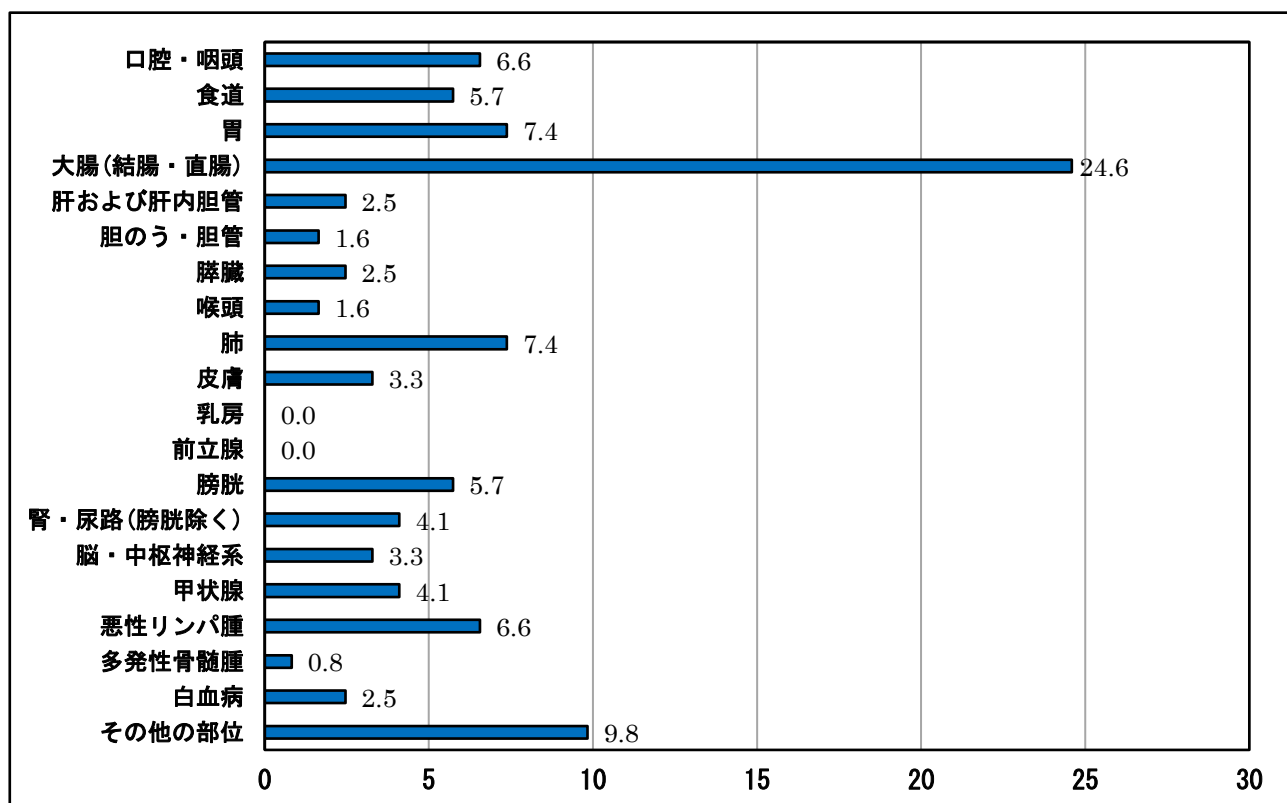


50代では大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高く、40代でも大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高くなっている。

【50-59 歳】

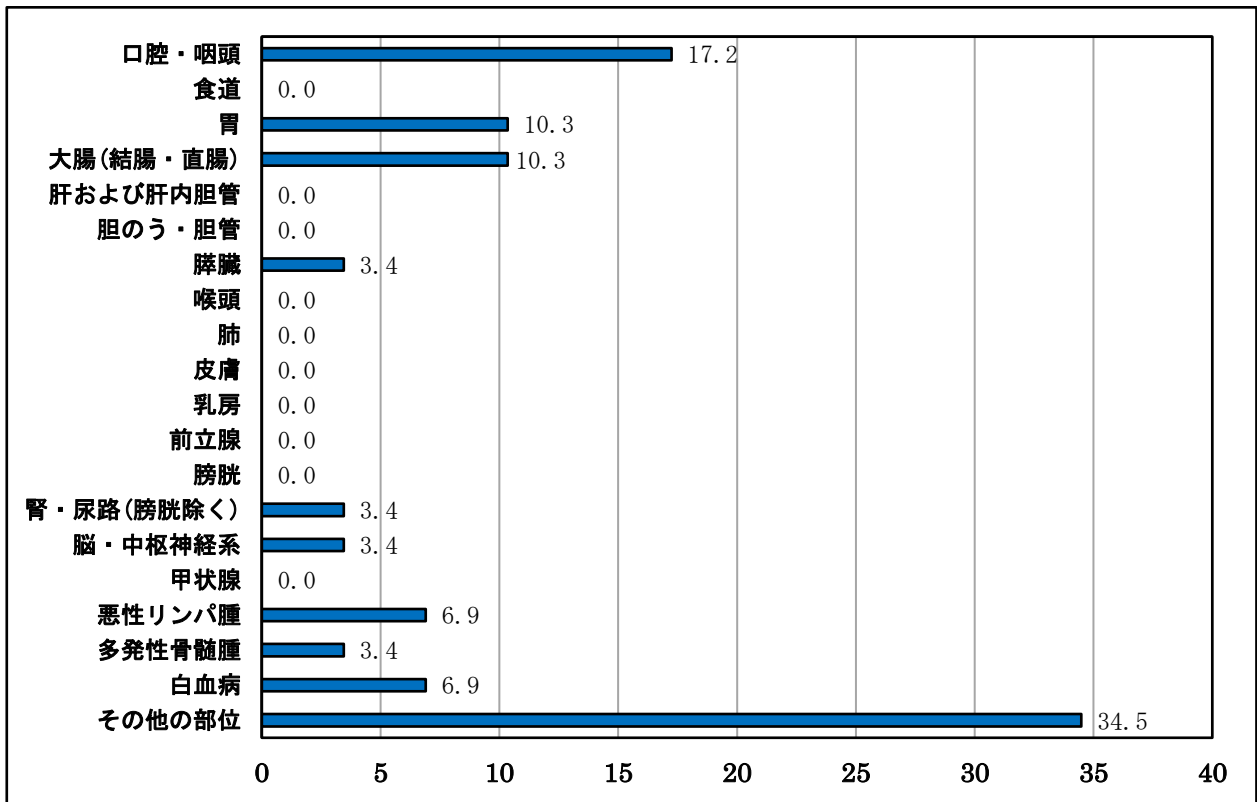


【40-49 歳】

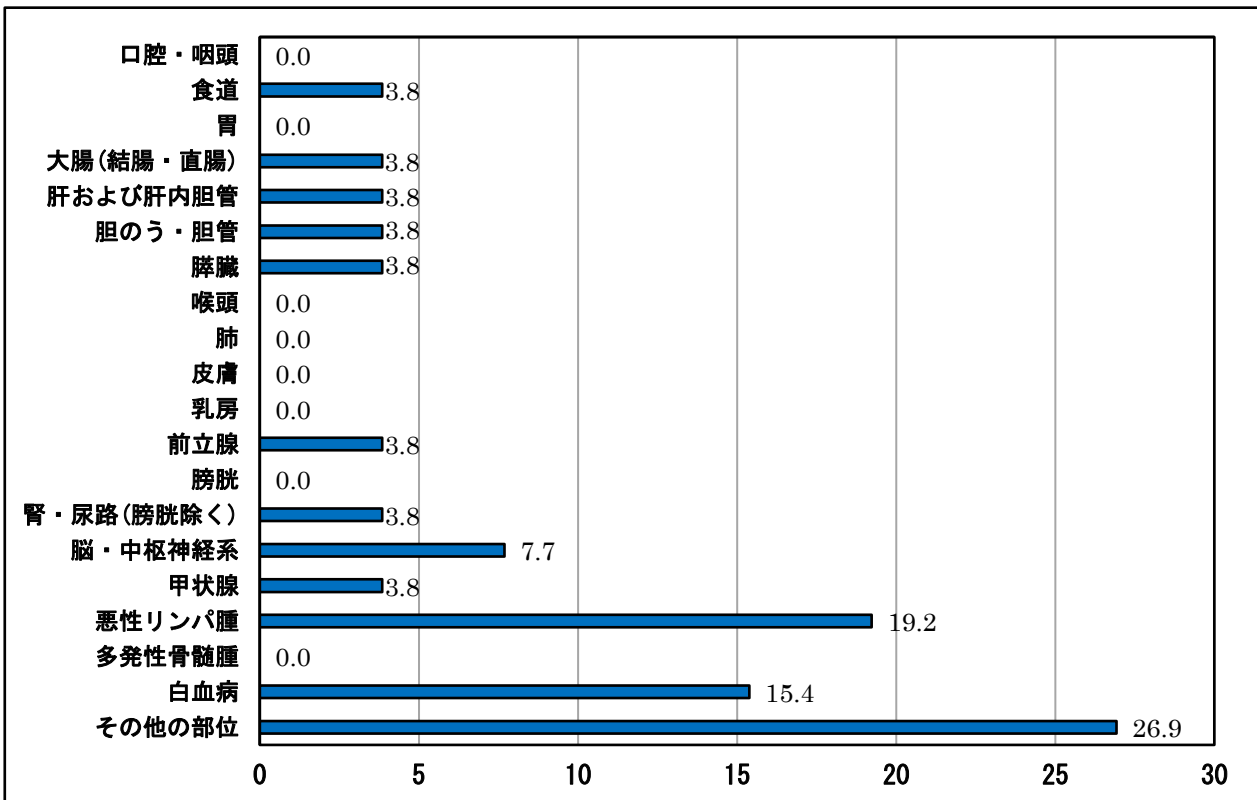


30代は、口腔・咽頭がんが最も高く、胃がん、大腸がん（結腸・直腸）が次いで高い。  
20代以下では悪性リンパ腫が最も高い。

**【30-39 歳】**



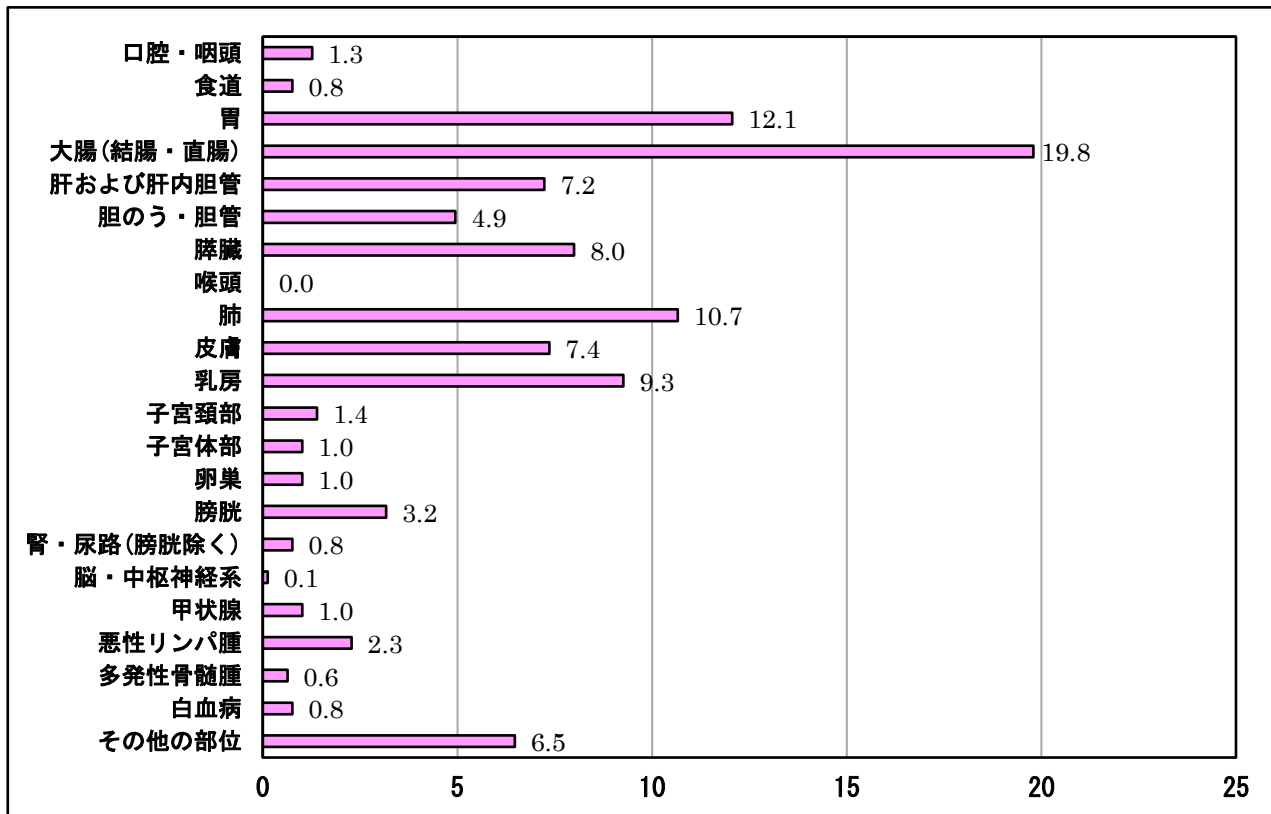
**【0-29 歳】**



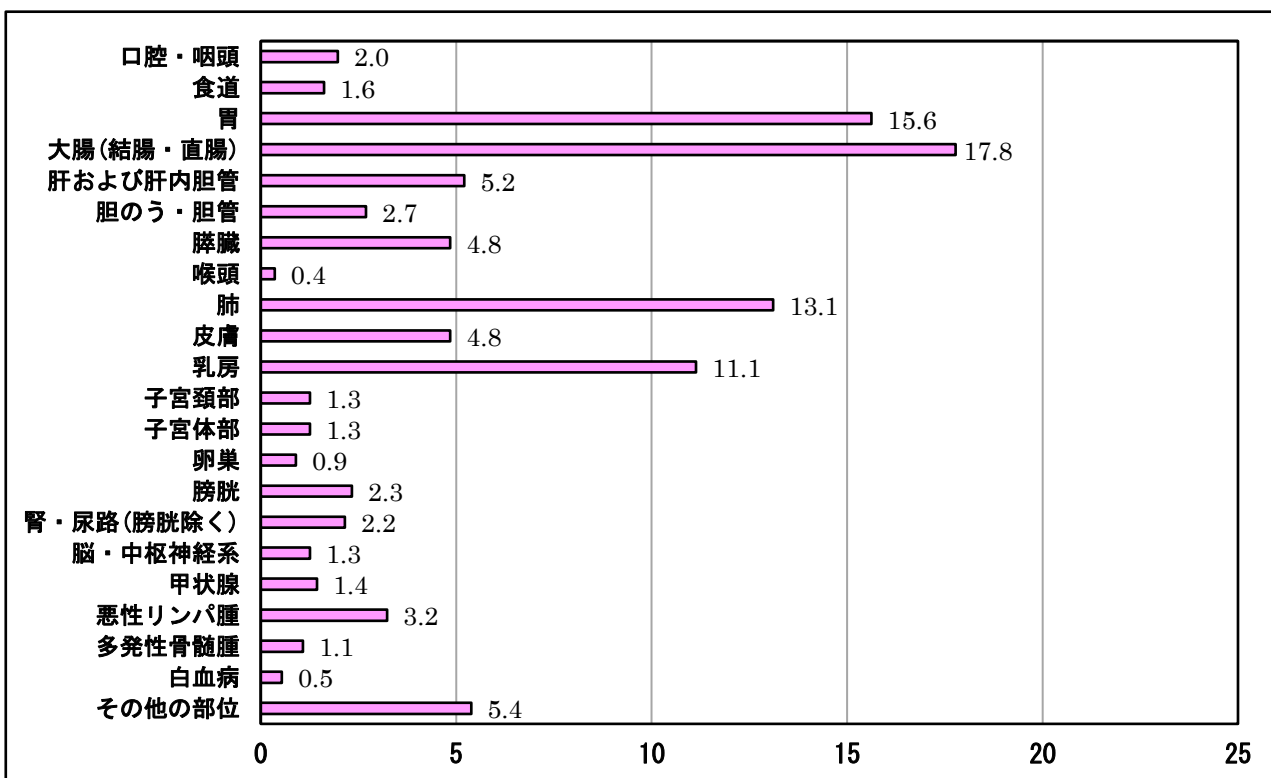
年齢階級別罹患割合(%)：部位別、性別（女性） ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

85 歳以上では、大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高く、80-84 歳でも大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高くなっている。

【85 歳以上】

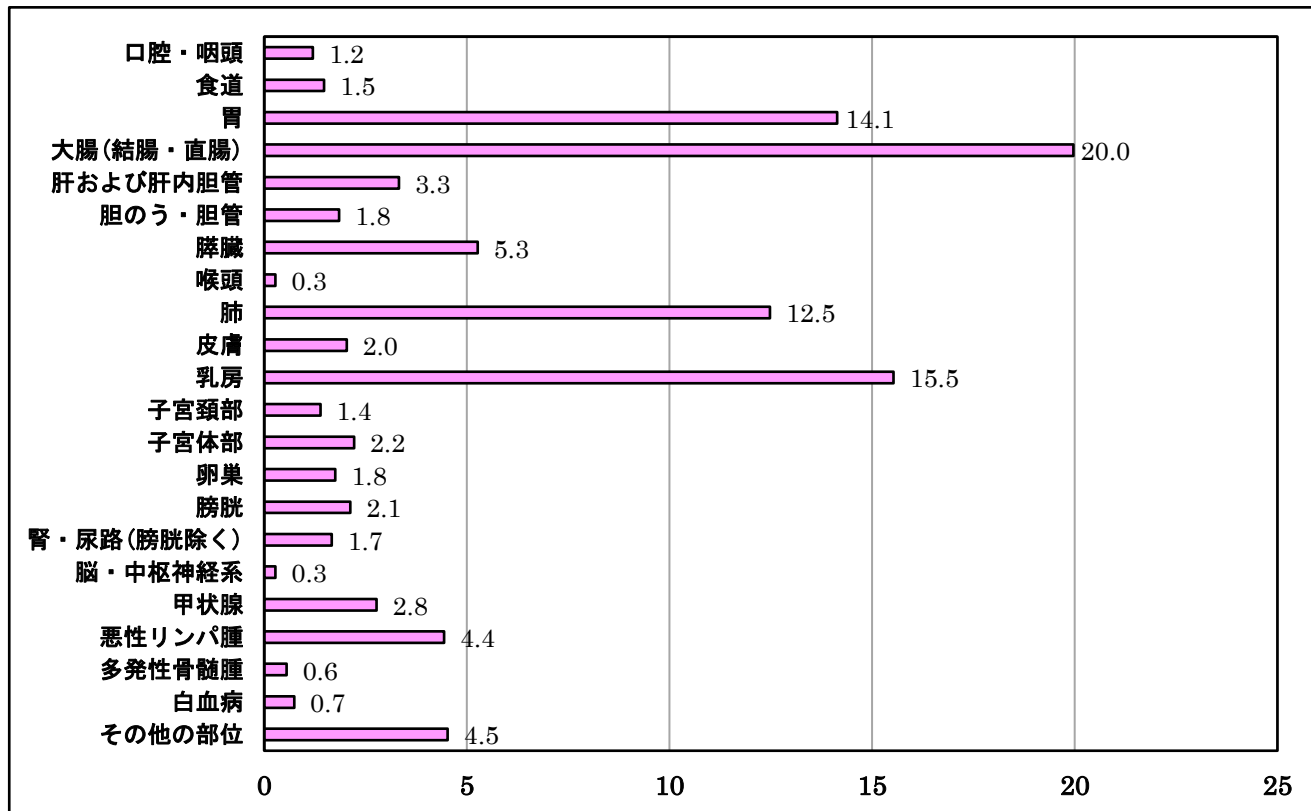


【80-84 歳】

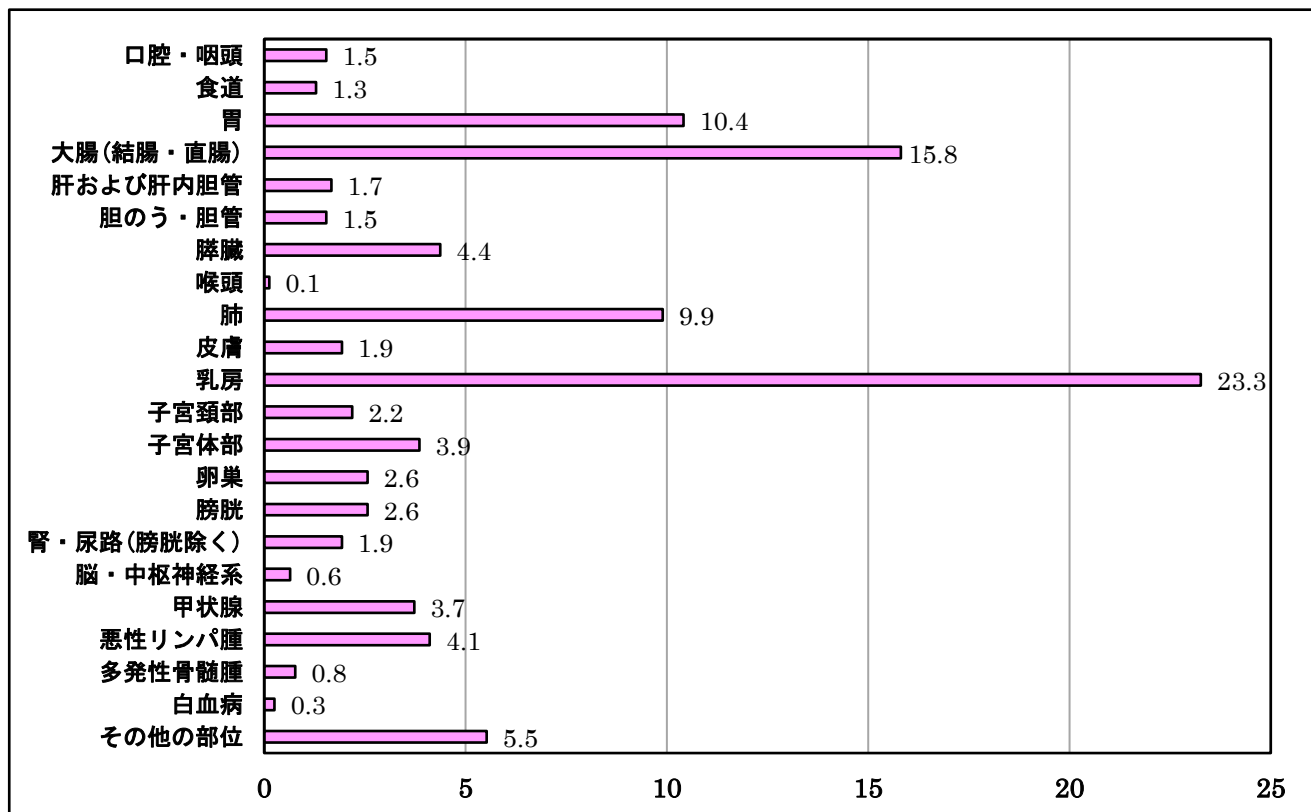


70代では、大腸（結腸・直腸）がん、乳がん、胃がんの順で高く、60代では乳がん、大腸（結腸・直腸）がん、胃がんの順で高くなっている。

【70-79歳】

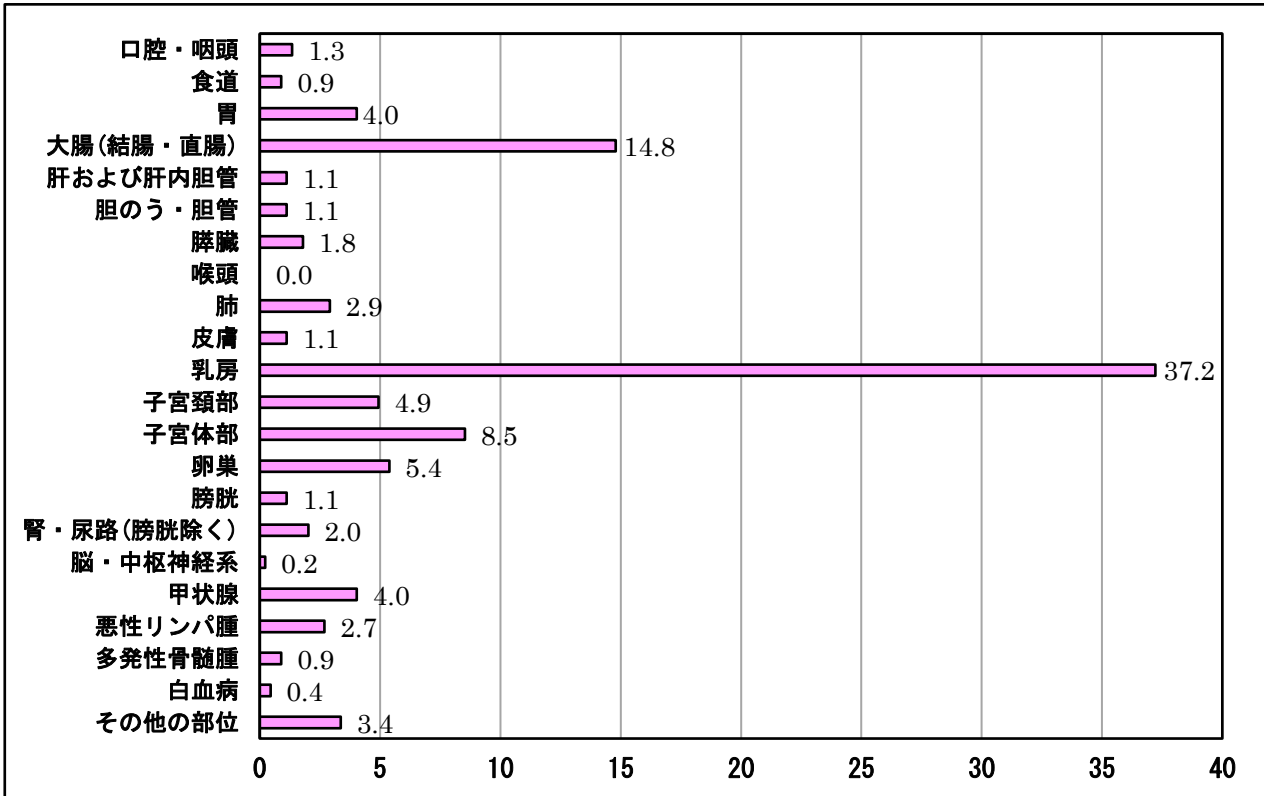


【60-69歳】

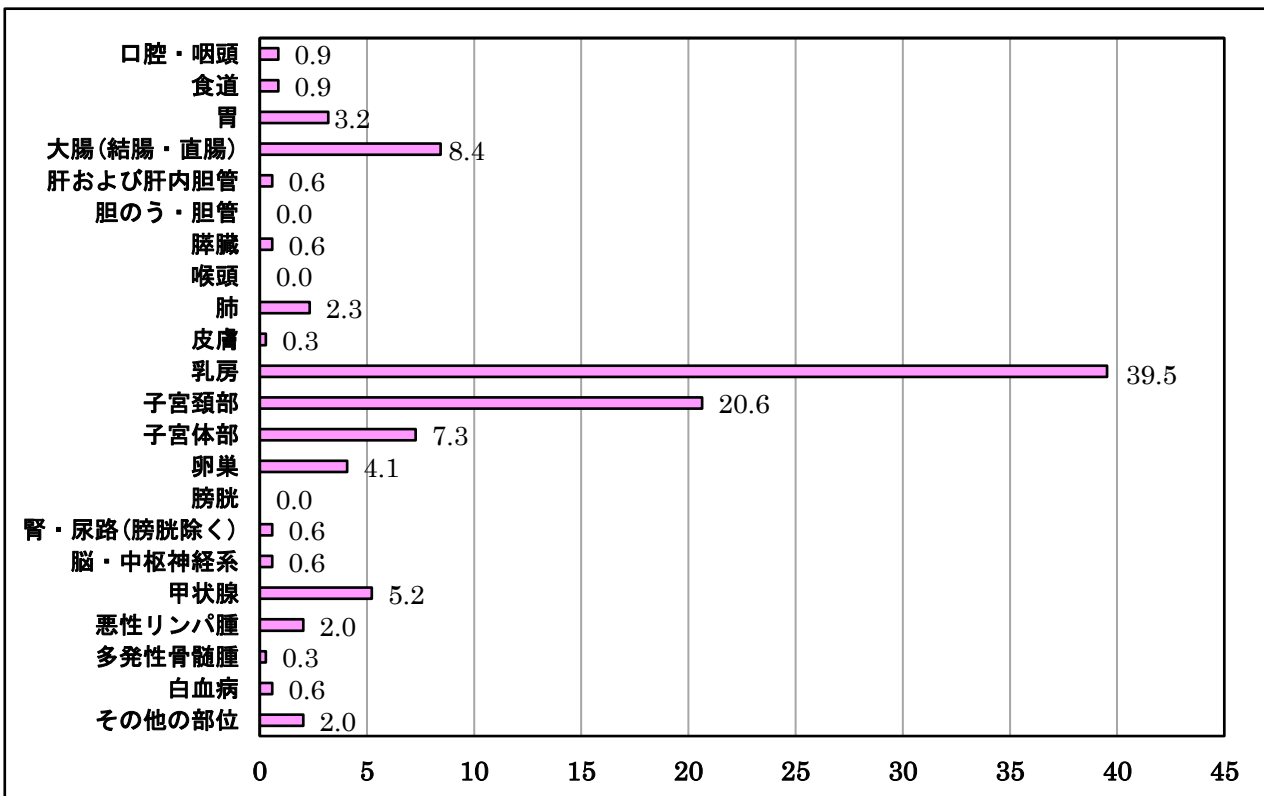


40歳代から50歳代になると、乳がんが最も高くなっており、40代では子宮頸がんも高い。

【50-59歳】

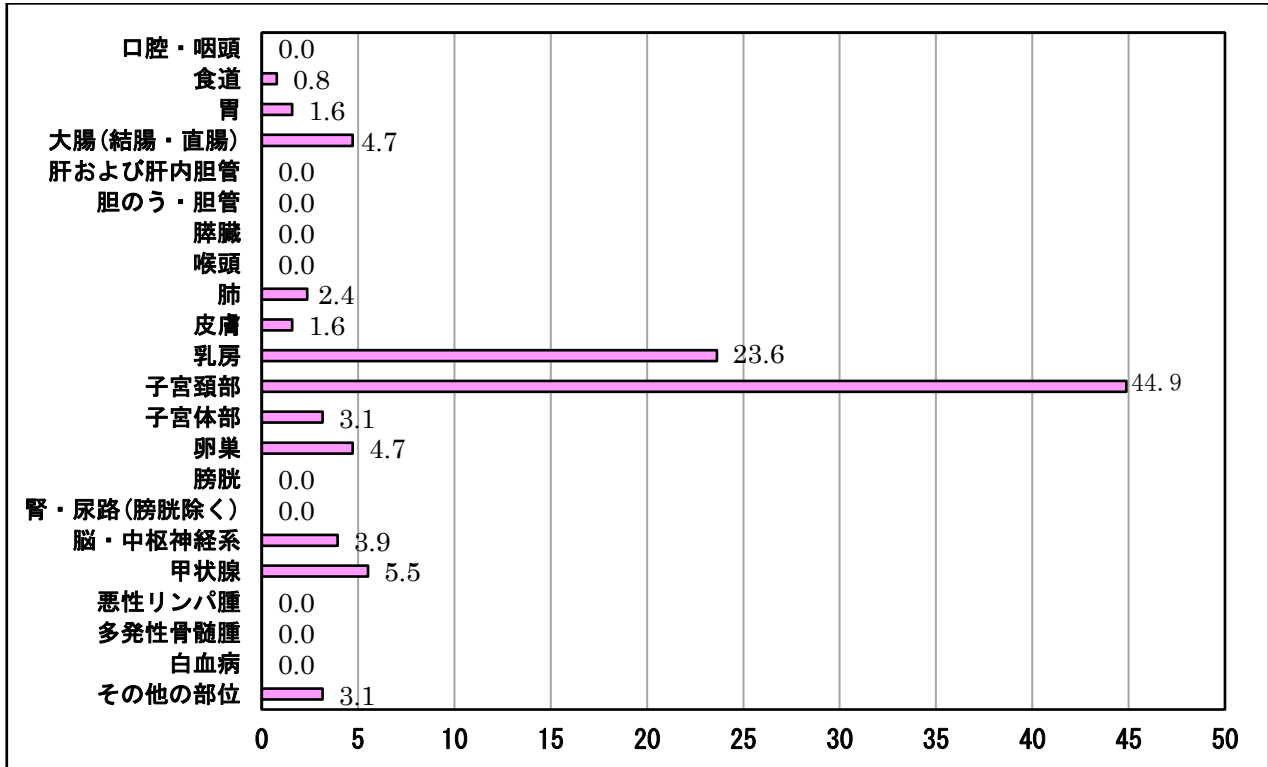


【40-49歳】

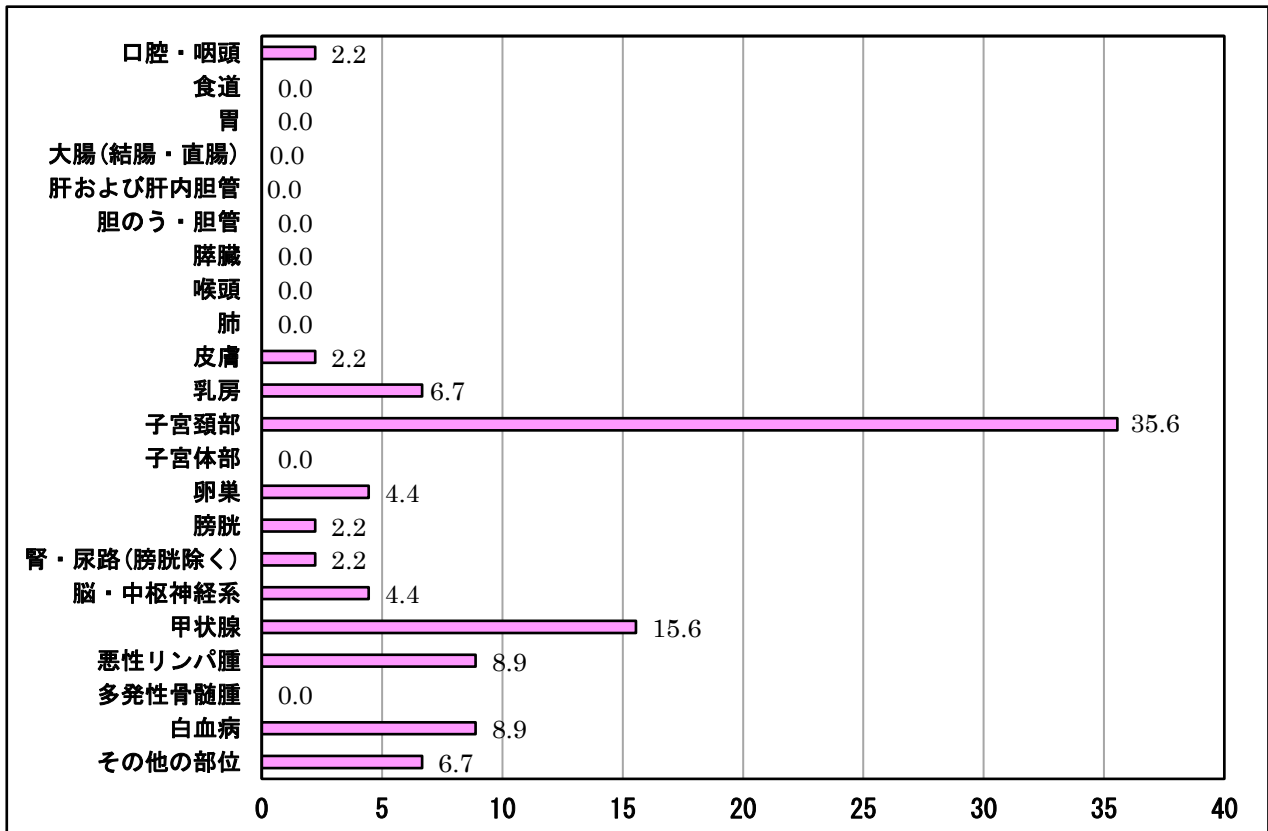


30代と20代以下ともに子宮頸がんが突出して高くなっている。また、30代では乳がん、20代以下では甲状腺がんが子宮頸がんに次いで高くなっている。

【30-39歳】



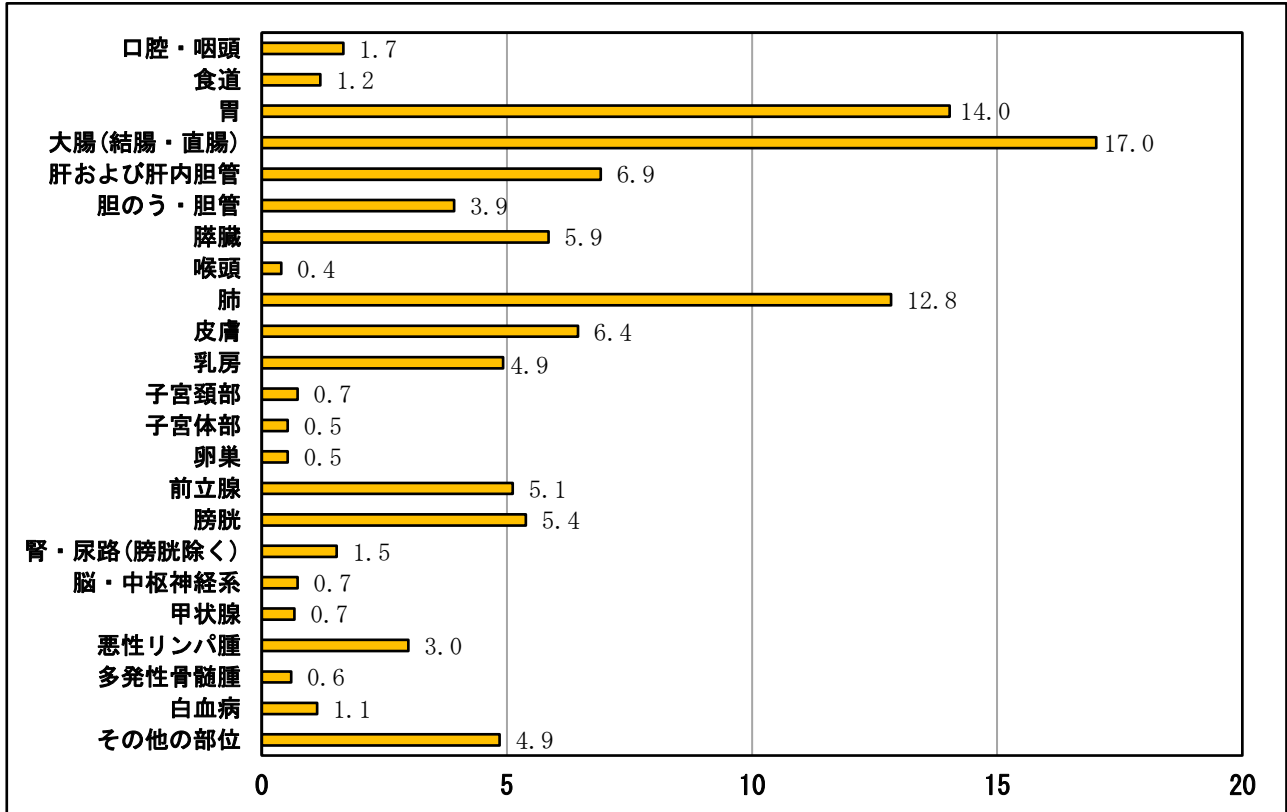
【0-29歳】



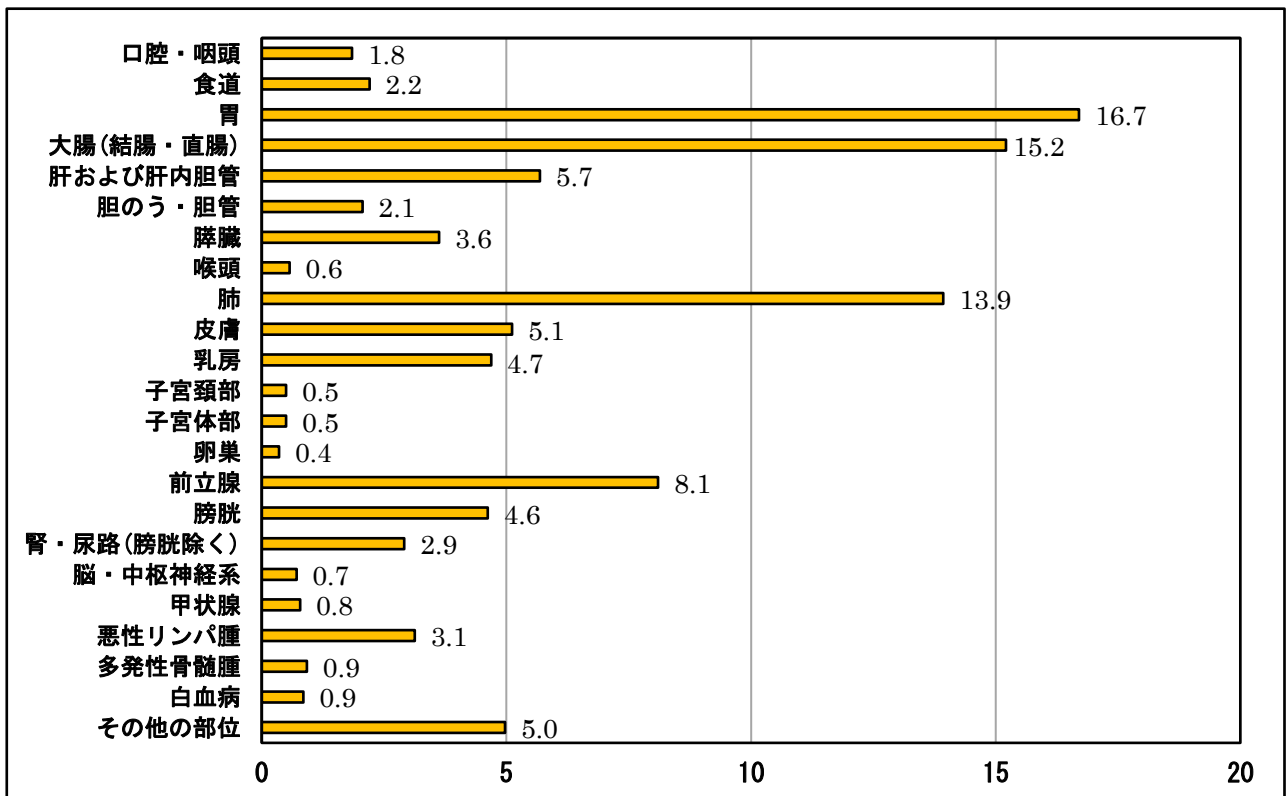
年齢階級別罹患割合(%)：部位別、性別（男女計） ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

85歳以上では、大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高く、80-84歳では、胃がん、大腸（結腸・直腸）がん、肺がんの順に高くなっている。

【85歳以上】



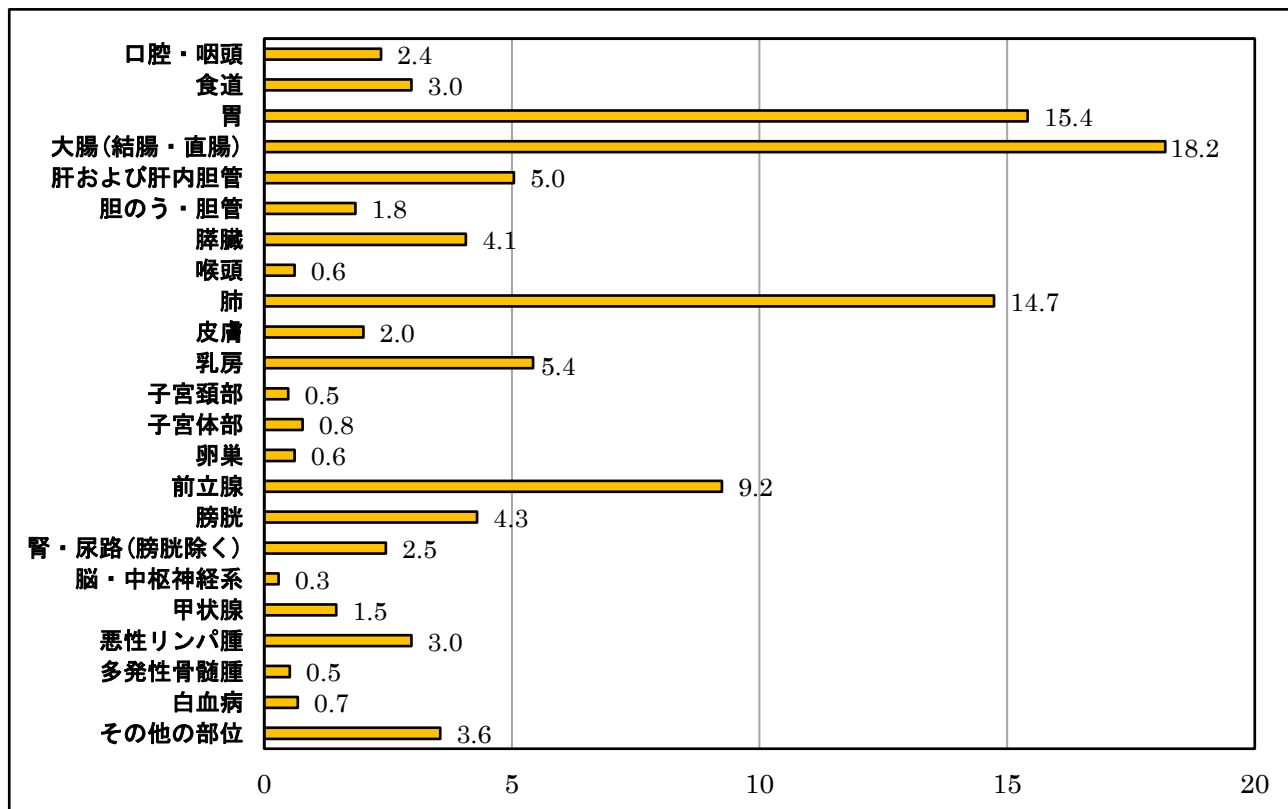
【80-84歳】



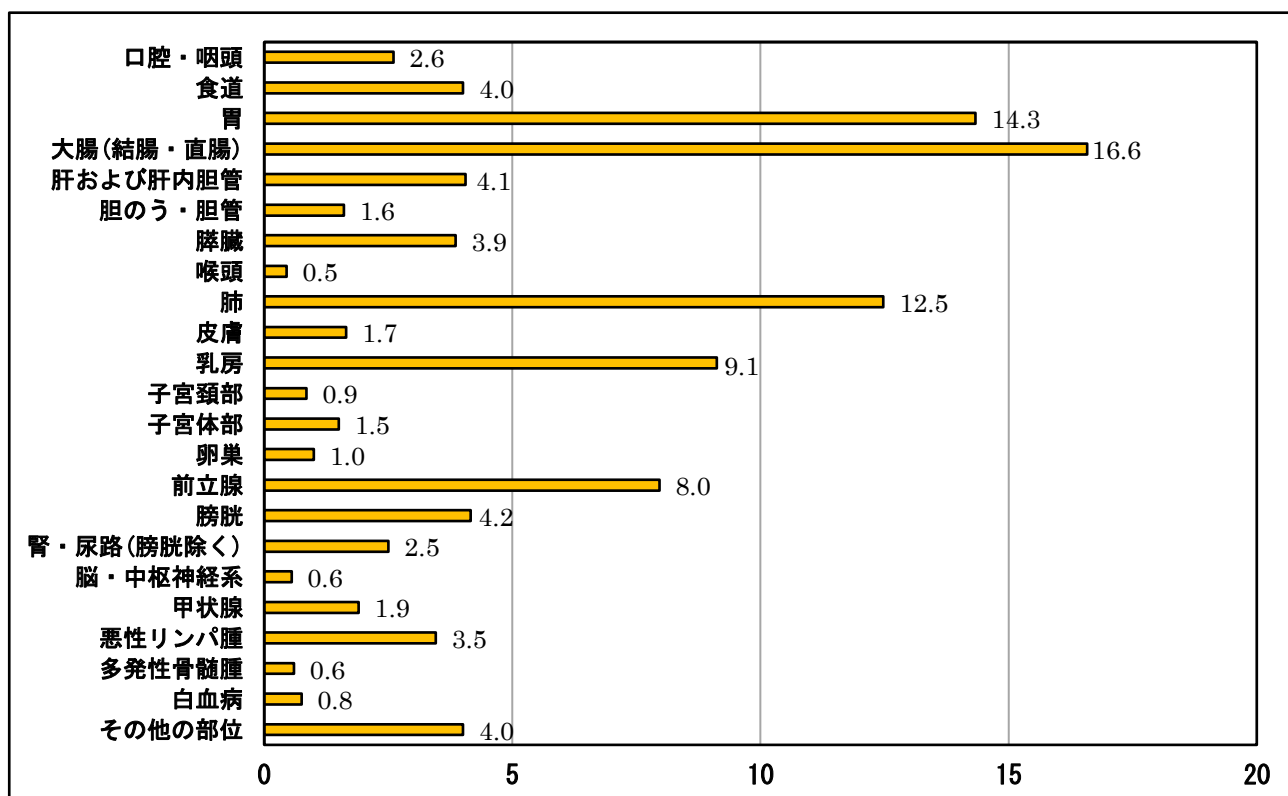


60代及び70代では、両年齢階級ともに、大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高くなっている。

### 【70-79 歳】

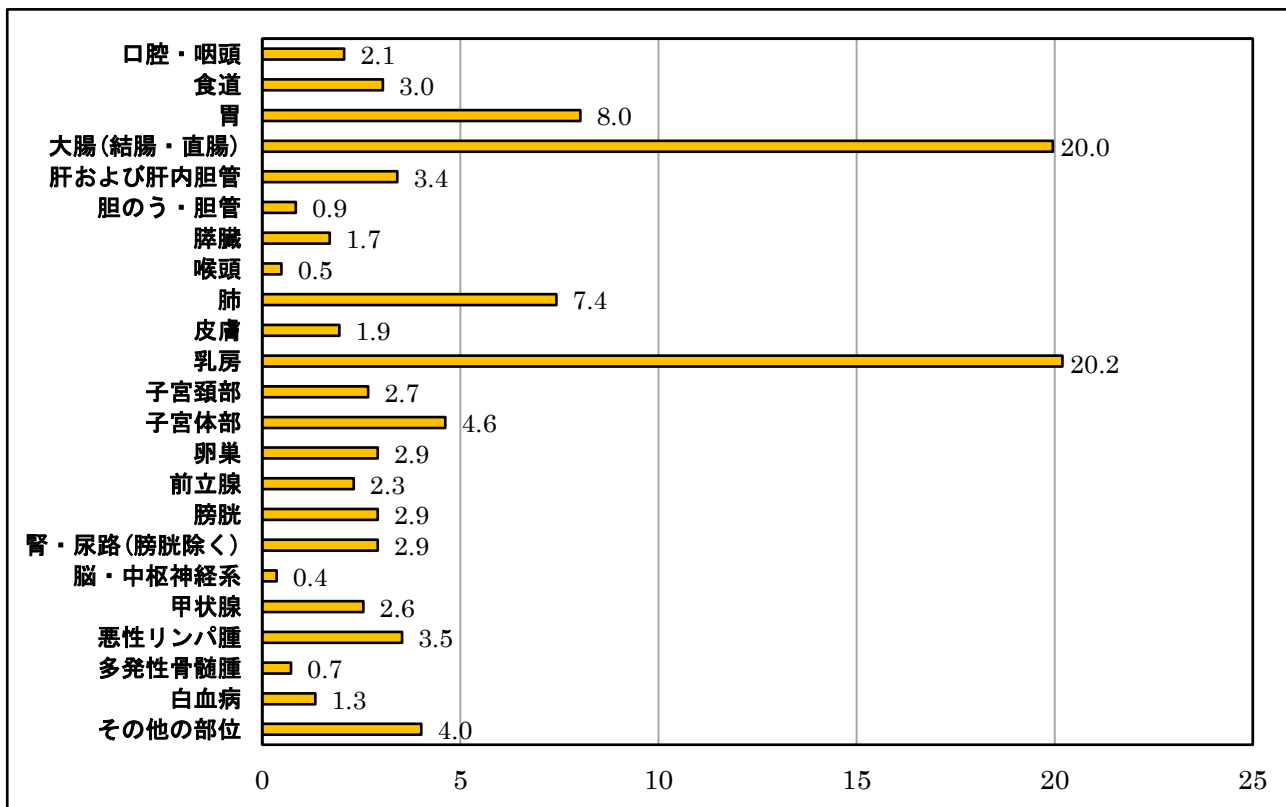


### 【60-69 歳】

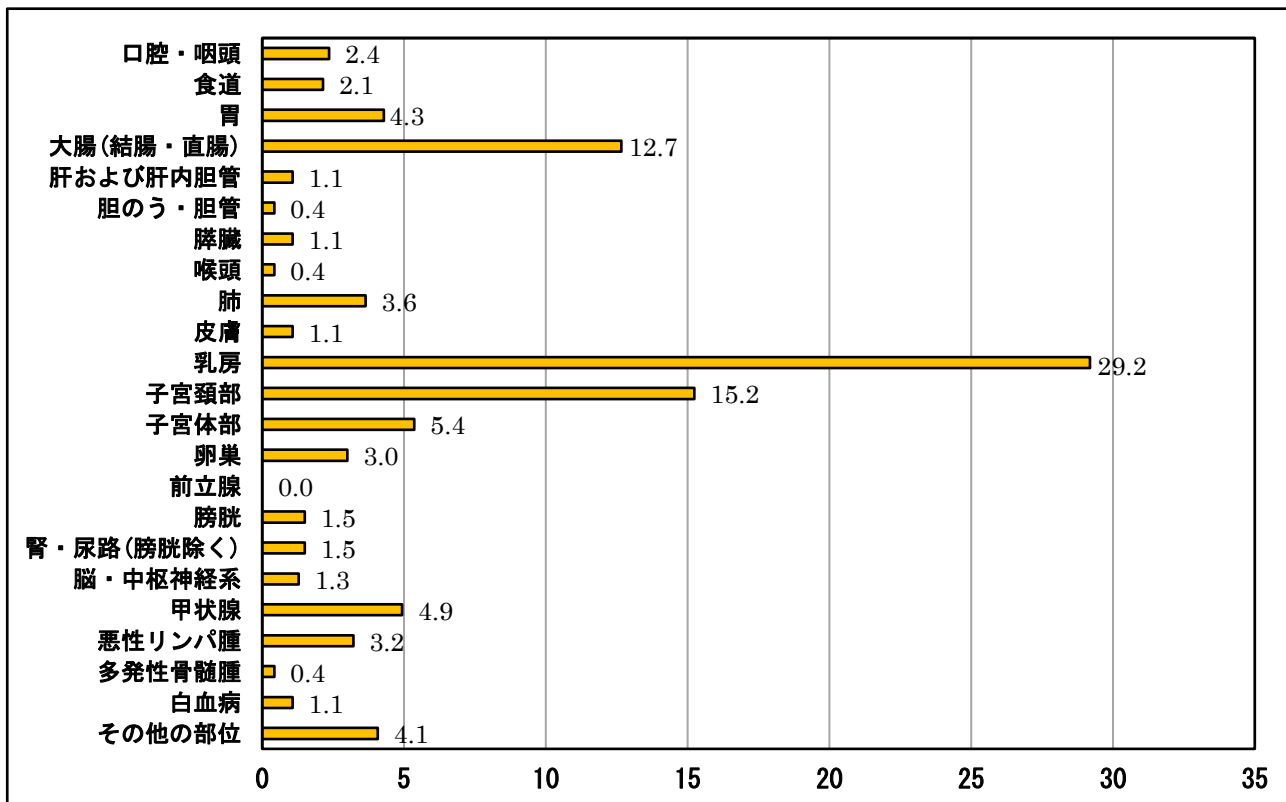


50代では、乳がん、大腸（結腸・直腸）がん、胃がんの順に高く、40代では乳がん、子宮頸がん、大腸（結腸・直腸）がんの順に高くなっている。

【50-59歳】

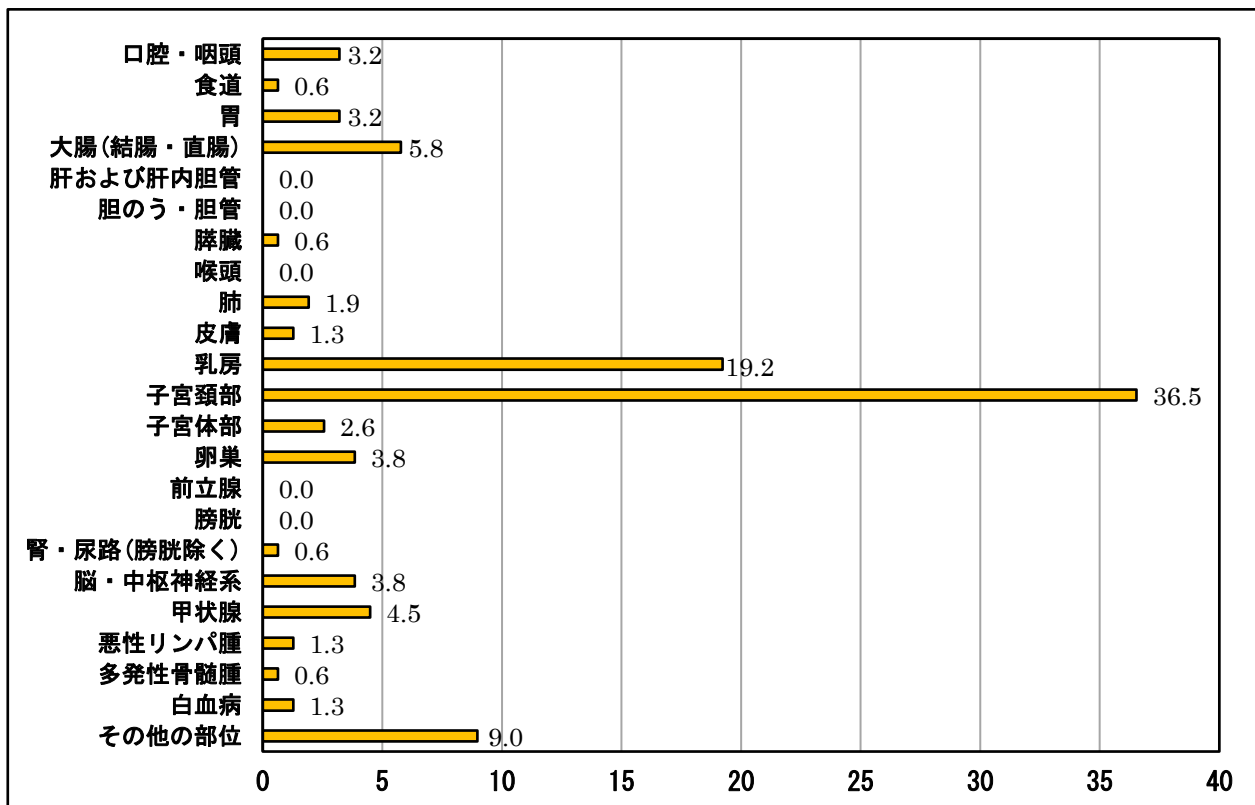


【40-49歳】



30代と20代以下では、子宮頸がんが突出して高くなっている。また、30代では乳がんが、20代以下では甲状腺がんが子宮頸がんに近いで高くなっている。

### 【30-39歳】



### 【0-29歳】

